

BE A GIRL TOMORROW

# あしな おたけ

CAUTION!

for adult only!  
**18**  
成人向

シモボード  
SHIMOBORD  
2013





Be a girl tomorrow



あしたおんなのこ

shimoboard

春野こむぎ



んなの

CHARACTERS

MORROW

稲穂ぴりか

今野みはる



BE A GIRL TO

■まえがき

どうも、こんにちは、シモさんと申します。

僕は「ボーイッシュ」とか「自分を男の子だと思っている女の子」等といった、そんな中性的ヒロインのお話が好きなんですけど、やっぱりそれは女の子が「少女」である時期特有の魅力と繋がっているのかなと思っています。

女子は「男子よりも先に大人になる」、男子は「大人になっても子供のまま」なんてよく言われたりしますが、これは女の子は相応の「苦勞を経て」、「女性になる」からかもなあと。

男の子って特に「頑張って」「男になる」必要が無いというか、少なくとも自分は自然に、何を意識することもなく、「男」になっていましたw


「女の子」はいつ「女性」になるのか。象徴的なイベントとして、よく初潮とかが描かれたり…やぶうち優先生の数多の作品やら、ジブリの魔女宅といったあたりも、そういうテーマを扱っていますよね。

…というか自分もいつかそういうテーマの作品を直接的に描いてみたいなあとってはいるんですけど、今回はやや婉曲的な方向の描き方で。

ある意味そんなテーマを無意識の中にもどこかに潜ませながら、毎回漫画を描いている気もしますがw、とりあえず今回のメインの舞台装置は「地方独特の風習」的なモノにしております。

それでは、そんな所で本文をどうぞー。

あしたおんなのこ




この町の女の子は  
子供の間、「男子」  
として育てられる

数えて十二になる  
年の、夏の「女祭」  
に参加する日まで



みはるが女祭に  
参加して、「女子」  
になる日までは

俺は、はどこ  
じやなくて、  
みはるの「兄貴」  
だからな



うん、俺たち  
兄弟だね

ゆたか兄にいい

そして

オレ達の歳の  
女の子が  
「女祭」に参加する  
年がきた

まあ……  
どうしても  
つてなら……

みたいみたい  
お兄さん、  
おねがい！

お前ら……  
この為俺を  
呼んだな……

ほりー  
勃起すると  
こーなるん  
だよ

やっぱりクラスの  
男子とかとは  
全然違うね！

おにーさん  
さわつても  
いい？

ホント、興味  
しんしん  
……なのな

ウチも  
ウチも！



んっ

すごい

おお...

まぜ

ゆたかにいいの...  
あんな風に...  
なるんだ

まぜ...

...っ



...あ〜っ

なめちやえ  
っ!

はむっ

うわ??

ズルいっ  
ウチも  
っ

はむっ

はむっ

んっ

はむっ

はむっ



あ…

ドキッ

ぴりかちゃん  
こむぎちゃん…

あんな顔…  
はじめて見た



予習だよ  
— 予習っ

「女祭」の前に  
色々調べんの

やっぱり「女子」に  
なったら、楽しい  
恋愛とかしたいし

ウチなんかもう  
狙っている人  
いるよ

男の人ってやつば  
女の子にえっちな  
事されると、嬉しい  
らしいしさ



ゆたかにいって  
頼まれたら  
何でもする  
のかよーっ

へ...?  
なにが

二人におちんちん  
いじらせたり  
なめさせたりさ

：お前が俺を  
河原に呼んだ  
んじゃねーか

ギッ



それに二人とも  
「男子」な間しか  
あんな事、言い  
だしてこねーよ

「女子」になれば  
色々、厳しく  
しつけられる  
だろーし

「女子」になる  
準備とかつて  
いるのかな  
……やっぱり

スカートで  
足開いたら  
パンツ丸見え  
だぞ

そんな事は  
どーでも  
いいよ!

……俺は  
このままが  
いいのにな

……

でも、いつか  
みはるにも  
生理…とかは  
くるだろ

だったら  
最初から男子  
扱いなんて  
すんなよ!

ちゅーとハンパで  
イミわかんないん  
だよーっ  
このフーシュー!

ギョーッ

そんなの俺に  
いつても  
どうしようも  
ないだろ!

アハハハ

オレ

…だって  
コウいんだもん

…俺

ゆたかにい…は  
俺が弟じゃ  
なくなつても  
いーの?

「女子」の事は  
わからないし、  
それは教えて  
やれないけどな

怖いのは  
みはるだけ  
じゃないつて

…多分、  
皆不安だから  
…準備とか  
してるんだろ

…女のはどこ  
なんて、  
殆ど妹みたいな  
もんだろ—  
変わんないつて

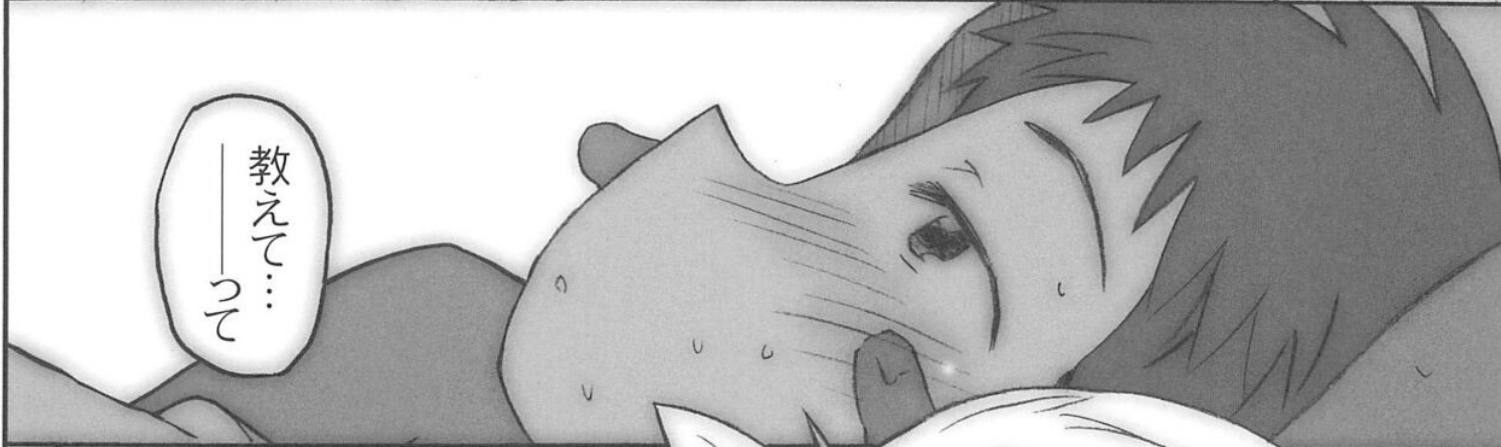
…ん



俺も…準備  
したい

今はまだ  
兄弟なんだから  
教えてくれる  
よね？

…ゆたかにい



教えて…  
つて



—だから  
じよ…「女子」に  
なる前の…予習

ゆたかにいに  
…教えて  
欲しい—

ドキドキ





これで…  
いいんだろ

「女子」の  
予習…

はっ  
はっ

はっ



あ…

ピン  
はっ

はっ

まだ…  
最後まで  
…教えてよ



兄弟の間は  
…俺に何でも  
教えて  
くれるって

みはる…

言ったもん  
ゆたかにい

ピン  
はっ



—なんで  
ここまで…  
俺に教えて  
欲しいんだよ

…ゆたかにい  
こそ—  
ビビってんじや  
ないの？

…知らない  
からな

ん…

……

え…

い…  
あ、

あ…

あ…

あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…

ん…

ん…

ん…

ん…



ブルブル

ブルブル

ブルブル

あ、あ、あ

あ、あ、あ

ブルブル

ブルブル

ぬぬぬ

ブルブル

あ、あ、あ

にゆ…たか  
にい…たか



ずっとつながって  
いるって…  
思っても…  
…い…い…あ…

ブルブル

ブルブル

これ…で俺が  
「女子」になっても  
ゆたかにいの  
弟じゃなく  
なっても…

ピン

ピン

ブルブル

あ……

当たり前  
だろ——

弟でも  
妹でも  
はどこでも

みちっ

俺にとつて  
……みはるは  
みはるの  
ままだよ

だから……「女祭」さ  
不安にならずに  
行つてごいよ

……うんっ



あ…んまり  
見ちゃダメ  
…だつて  
ゆたかにい

そんなトコ  
俺…は、ハズ  
かしい…よ

あ…  
や…

いつの間にか…  
むさぼる様に  
みはるを求めている  
自分がある



あ…

このまま…  
また、いいか？  
みはる…

え…っ  
また…  
いれるの？

兄貴ツラ  
しておいて…  
俺の方が不安  
だったんじゃないか

このカツコ  
で…？

ま…  
ま…  
ま…







またかニ  
またかニ

何...  
何...

は...  
は...

オし...  
オし...  
へんた...  
へんた...

あ...  
あ...

「男子」として  
育てられた  
女の子が  
「女子」になる

「女祭」の  
夏は...  
もうすぐそこ  
までできていた

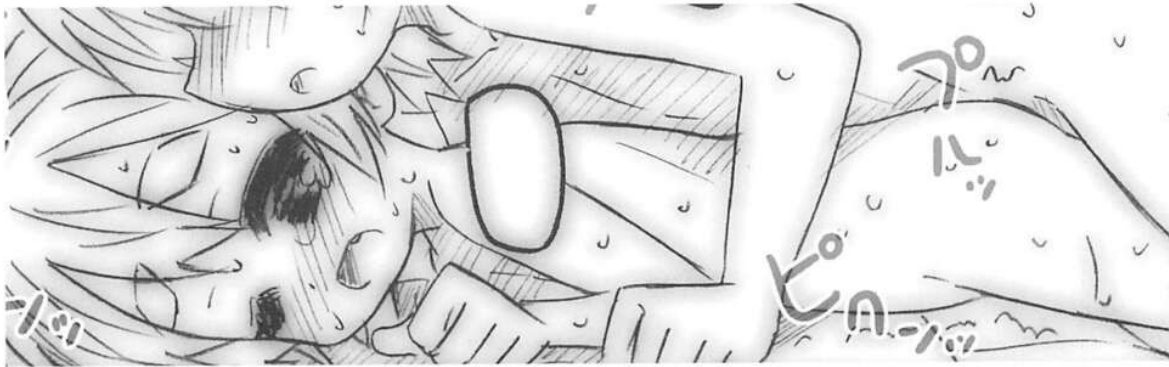
あ...  
あ...

あ...  
あ...  
俺...  
俺...

だ...  
だ...

あ...  
あ...

to be continued

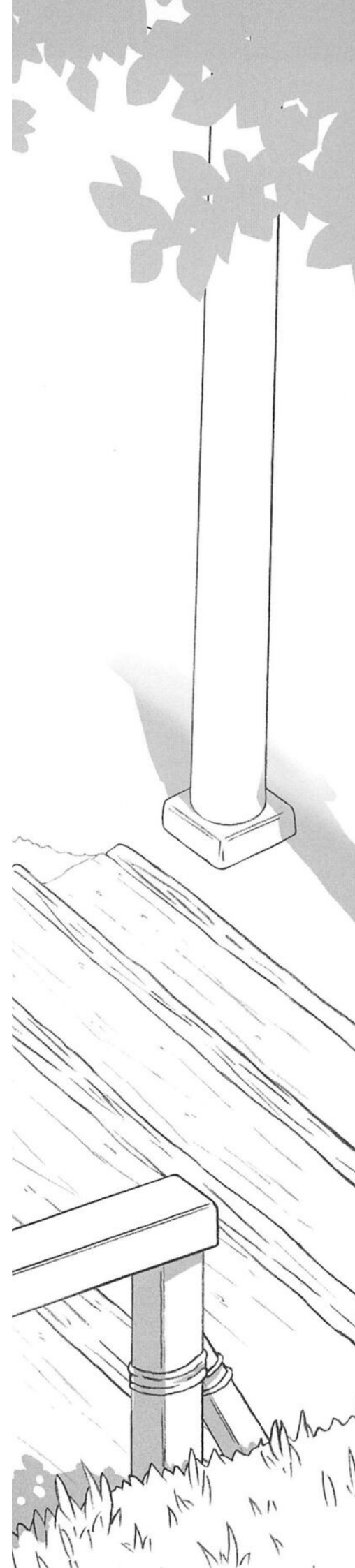


あしたおんなのこ

あしたおんなのこ







# あした おんなのこ

## ■色々

またメインヒロインのコが見事に太眉です。  
太眉娘さんに一度ハマると、抜け出しにくいですね w。

ふんどし、特に今回のテーマという訳ではなかったんですが、描いてみるとどんどん可愛く思えてきました。これをビジュアル的なテーマに据えて、一冊描いてみてもいいかもしれないなあ、なんて。…実際にアレを…アレを…一度で良いから取材にいきたいなあ w。…ええ、取材ですよ!

パンツとかスク水も変わらず大好きな訳ですが、あまり「コレを描かねば!」と考えを硬直化させず、その時のテーマにあっていて、自分でもその時描きたいというモノを優先させた方が、結果的に良いかもしれないですね。

今回先に舞台の設定から決めていったので、キャラのビジュアルやら性格やらストーリーやらを考える上で自動的に一定の「制限」がかかったのですが、これは逆にやりやすかった気がします。創作でも「完全に自由」だと、何事もかえって悩んでしまうというか。早い段階で自分の中で「制限、ルール」を決めるのは、効率的かもしれないですね。

今回の漫画の設定等はこの後のページの「memo」に書いておりますが、本当にネームを起こしながらの自分用アイデアノートの「メモ」という感じなので、読みにくい上にストーリーと全く関係ない、「だからどうしたの?」というモノが、溢れんばかりにグダグダ書かれていると思われるのですが、そういうモノとしてご了承ください。更にネームを練る前のメモ書きなので、多分所々変更点もあつたりします。「同人誌らしいオマケ」として読んで頂ければと。



## ■雑多なメモ書き

緩やかに過疎化が進む地方の町、温泉街。  
小学校の学年平均人数は12~13人。

この町で生まれた女の子は、「男子」として、その地域全体で見守りながら育てるという風習があり、中でも同じ地域の歳上の(比較的歳が近い)男児が「兄」となり、「弟」である女の子の面倒を一番に見てあげる事になる。この慣習上の「兄弟」の絆は、本当の肉親と同等と言える程に大事な関係であるが、「弟」である女の子が「女祭」の参加を経て「女子」となった以降は、「兄」であった男性に面倒をかけない、「他人」としてあえて一定の距離感を持った関係性が、やはり慣習的に望まれる。

この町の女の子は、「男子」として育てられている間は

- ・必要以上に髪を伸ばさない
- ・女モノの衣服を身につけない
- ・公衆浴場、トイレ、プール等も「男子」として利用する
- ・出生時に「女の子」としての名前を付けられているが、「男子」として通る名前、愛称」で普段は呼ばれる

等といった慣習に沿って、まさに「男子」として、日々の生活をおくる。ただしそういった慣習を「破った」としても厳罰等がある訳でもない。この慣習に倣うかは、家族の意志、本人の意志が基本的に尊重される。また、この町で生まれた子でなければ、最初からこの慣習の対象外である。

「男子」として育てられた女の子が「女祭」に初めて参加するのは、数え年で12になる年である。この「女祭」への初参加によって、この町の女の子は「女子」として扱われる事になる。

この町の伝統的な祭りは2日間催され、「女祭」は2日目の夜に行われる。男性は「女祭」には参加できず、補助的な雑用等のみを請け負う。「女祭」は観光客等にも、(女性以外には)基本的にクローズドな祭になっている。

「女祭」へ初参加となる女の子は、参加前に町の温泉等で身を清めるのが通例。昔から温泉街として発展してきた町であり、やや奥まった場所に行けば無料の露天風呂が点在し、脱衣所を兼ねた簡易的な小屋がある事も多い。

「女祭」の初参加を経た女の子は、そこからは「女の子らしく」なる事を強く意識した育てられ方をする事が多い。「男子」として育ったそれまでの人生とは全く別の、新しい「女子」としての人生が、そこから始まる事になる。

## あしたおんなのこ

### ■あとがき

ここまで読んで頂き、ありがとうございます。

地方毎の風習というのは、時代の中で積み上げられたその地方の人達の「生きる、生き残る、繁栄する為の知恵」が形になったものだと思います。

効率化し、平らになっていく世界が「横に繋がる」世界だとすれば、個性的な風習の中に生きる世界というのは「時代を縦に繋ぐ世界」ではないでしょうか。

どうしても「平らになっていく世界」をベースに現代人は生きていかざるをえないでしょうが、だからこそ地方毎の「個性」の面白さも忘れないようにしていきたいなと。

この本で描いた風習は、完全に僕の妄想でありフィクションですがw、キャラ達はその世界の中で(時代と)縦の繋がりをもって生きている様なイメージは大事にして、今後も色々描いていきたい所です。

ではでは、今回はこの辺で。  
また、別の本でお会いしましょう。

★ 奥付 ★

[ あしたおんなのこ ]

2013年12月31日  
発行・制作  
シモボード / シモさん  
印刷：ラジャブリ様

☆連絡先☆

shimosan03@mail.goo.ne.jp

net id

pixiv : 11279    twitter : shimo3

website : 「ボクのカケラ」で検索を。

諸注意

★本誌の18歳未満の方による購入・贈与を禁じます。

★あらゆるメディアにおける複製・転載・二次使用、  
作品のアップロード等の行為を禁じます。

★本作品は完全なるフィクションです。

作品内の呼び名や身体的な特徴等は  
演出上の表現であり、キャラクターの  
年齢設定は成年となっております。





# あした おんなになろう

Be a girl tomorrow



caution!

for adult only!  
**18**  
成人向

presented by  
**shimoboard**  
2013